

第2回北区岩淵周辺地区かわまち推進検討会 議事要旨	
開催日時	令和8年2月4日(水) 15時～17時
開催場所	荒川下流河川事務所1階 アモアホール
出席者	<p>《委員》</p> <p>【学識経験者】</p> <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒巻 俊也 委員 (東洋大学 副学長/国際教育センター長 国際学部教授) <p><副会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二井 昭佳 委員 (国土舘大学 理工学部教授) <p>【地域関係団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石渡 良憲 委員 (岩淵町まちづくり協議会代表) ・酒井 克昌 委員 (志茂まちづくり協議会代表) ・登澤 鈴子 委員 (公益財団法人日本生態系協会) ・織戸 龍也 委員 (株式会社岩淵家守舎代表取締役) ・杉山 徳卓 委員 (一般社団法人東京北区観光協会事務局長) <p>【国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤羽 浩 委員 (荒川下流河川事務所 管理課長) ・小針 政博 委員 (荒川下流河川事務所 占用調整管理官) ・石戸谷 信吾 委員 (荒川下流河川事務所 地域連携課長) <p>【北区関係職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉田 直人 委員 (北区 政策経営部 シティブランディング戦略課長 地域振興部 産業振興課 副参事 観光振興担当) ・長久保 英邦 委員 (北区 防災まちづくり担当部 防災まちづくり担当課長) ・市川 貴之 委員 (北区 土木部 道路公園課長) ・神田 空太郎 委員 (北区 土木部 公園魅力向上推進担当課長) <p>《オブザーバー》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牧野 格 氏 (東京都 建設局 河川部 低地対策専門課長) ・早川 学 氏 (東京都 建設局 河川部 計画課河川利用促進担当 課長代理) <p>《事務局》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区 まちづくり部 まちづくり推進課
開催形態	公開
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回推進検討会の振り返り 2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 河川空間のオープン化について (2) 基本設計中間報告 3. 今後のスケジュールについて

議事要旨	<p>1. 第1回推進検討会の振り返り</p> <p>○事務局より資料の説明</p> <p>2. 議事</p> <p><u>議事：(1) 河川空間のオープン化について</u></p> <p>○事務局より資料の説明</p> <p>【質疑応答】</p> <p>○副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープン化の範囲で、河川区域内の通路部分は対象外か。 ・赤水門の手前の広場は眺めが良い場所なので、そこも使いたいと考えられるが、現在占有しておらず、また、オープン化の区域からも外れている。指定上問題がなければオープン化の範囲に加えても良いのではないか。 <p>○(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープン化の区域に組込むならば、区が占有する必要がある。区の管理部門とも協議したい。 ・現地を見ながら再度確認したい。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのイベントでは、通路部分も使ってきた。また、国道122号の下流側の河川敷もオープン化の区域に入っていない。この場所は花火大会時の観客席として使ってきた。これまで活用してきた、現在オープン化の区域から外れている箇所は、今後も活用したい。 ・通路部分は動線として活用するほか、イベント時はテントを張ることもある。なぜ、通路部分がオープン化の区域から外れているのか。 ・オープン化の区域を利用する分と、オープン化していない区域を利用する分と、個別に申請が必要になることは避けたい。 <p>○(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請が煩雑にならないように、今後、荒川下流河川事務所と調整したい。北区、荒川下流河川事務所ともオープン化は初めての取組みのため、オープン化指定後の手続きも含めて考えていきたい。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見として伺った。 <p>○(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区では、国が管理している通路等はオープン化の範囲から外れる認識であったがいかがか。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通路部分についてもオープン化をしている地区もあり、できないわけではない。
------	---

○副会長

- ・オープン化した場合、日常管理は国が行うのか、区が行うのか。

○委員

- ・日常的な維持管理の主体については協議による。

○会長

- ・オープン化の範囲は利用している箇所をまとめた方が使い勝手が良い。
- ・最終的な範囲は次々回の推進検討会にて決めるので、今回の意見を踏まえて検討を進めてもらいたい。

議事：(2) 基本設計中間報告

○事務局より資料の説明

【質疑応答】

○委員

- ・赤水門緑地付近は電源や水回りの整備を考えているか。
- ・アモア3階は、レンタルスペースだけでは賑わいプラスアルファの使い方がならない。これまでの指定管理の方法とは違う運営が大切となるため、指定管理者に対する仕様書が重要となる。
- ・岩淵橋付近の堤防天端は、花火会の際に一番混雑する箇所となる。パーゴラ(*)は混雑時に邪魔になるかもしれない。また、ベンチは混雑時に危険な工作物になる懸念がある。警察に意見を聞いた方が良い。

*パーゴラ：日除け施設

(事務局)

- ・赤水門緑地付近の電源・水道の整備は難しく、長期的な課題としたい。
- ・指定管理者の切替は令和10年度のため、仕様書の内容については、庁内で議論する。
- ・岩淵橋近くのパーゴラについては、人の動線の邪魔にならない箇所での整備を考えている。警察と協議をしながら、安全なアクセスルートを考えていく。

○委員

- ・新志茂橋に近い堤防天端(資料14頁)は盛土するのか。現在占用していない場所にパーゴラやベンチを作ると、この場所も占用しなければならないのか。また、堤防を盛土して天端を拡張した部分も占用するのか。

○(事務局)

- ・整備した施設については占用物となる。
- ・盛土については、駐車場の管理棟や桜に影響がないようにする。

○委員

- ・ベンチは、固定ボルトを外す仕様とするなど、花火会の時だけ撤去できないか。

- （事務局）
 - ・ベンチは維持管理を考慮し、固定式を想定している。通行の動線上で影響のない場所に整備したい。
 - 委員
 - ・駐車場は平日も利用できるようにするのか。
 - （事務局）
 - ・かわまちラボでも同様の意見をいただいているため、駐車場は平日利用も視野に検討を進める。
 - 副会長
 - ・現在の法面は階段やスロープの柵が多い。安全のためには必要だが、親水性が悪い。
- 【基本設計（中間報告）の内容について、現地へ移動して確認】
（現地での意見）
- ◇赤水門を望む広場的空間の活用 [資料 8 頁]
 - ・赤水門を望む一番良い箇所が北区の占用地から外れて、整備等の検討対象から除かれている。当該箇所も眺望を活かした整備を検討すべき。
 - ◇にぎわい創出ゾーンの広場へのスロープ [資料 12 頁]
 - ・幅員として 5メートルは不要。3メートル程度で良い。
 - ・スロープに挟まれた平場は花火会の観客席として重要。幅員を減少させることで、当該箇所の平場を今後も使えるようにしてほしい。
 - ◇法面（*）階段・坂路の手摺 [資料 13 頁]
 - ・法面に新たな階段や通路を整備するが、法面が手摺だらけとなる。手摺があると赤水門の眺望が良い法面へ移動できなくなる。法面の手摺を整備しない場所があっても良い。
 - *法面（のりめん）：傾斜面
 - ◇アモア 3 階 [資料 15 頁]
 - ・上流側のテラスについても日陰があると良い。
 - ・テラスは 2 箇所とも使えるとよい。
 - ・既存の図書を活かして、地域の人が歴史を学ぶ場として活用してもらいたい。
 - ・カフェ運営ではバックヤードが大切。
 - ◇川沿いの遊歩道 [資料 17 頁]
 - ・遊歩道の幅員は計画ほど拡幅する必要はない。
 - ◇堤防拡幅部のベンチ [資料 17 頁]
 - ・桜を傷めないように、ベンチを設置する部分だけ盛土すればよいのではないか。

◇岩淵橋付近の法面天端のパーゴラ [資料 19 頁]

- ・花火会終了後に帰る人が滞留する場所となる。少なくともベンチは取り外しができる構造が望ましい。
- ・警察と協議をしてから整備を検討した方が良い。

【意見交換】

○委員

- ・堤防拡幅部にキッチンカーが入るようにしたい。[資料 19 頁]
- ・ベンチは荒川と桜が見えるよう、背なしタイプが望ましい。
- ・パーゴラを設置する箇所には白いガードレールがある。景観を考慮して擬木に変更することが望ましい。
- ・花火会の時にベンチを取り外すならば、取り外した穴を有効活用できないか。また、照明器具を埋め込んだベンチとしてはどうか。

○委員

- ・アモア 3 階の活用では、社会実験で実施した「アモアカフェ」は事業性があるため、カフェを実現したい。具体的な活用方法として、カフェを運営するという明確な目標をたてて取り組むことが必要。それに合わせて、バックヤードの水回りを整備すべきだ。

○（事務局）

- ・整備については、2 段階で考えており、令和 9 年度の整備では最低限の改修を行いたい。その他の整備については、かわまちラボの活動を通じて検証するなど、運営の視点で改修を進めていきたい。

○副会長

- ・河川敷内には、階段等の手摺や様々な施設がある。しかし、来訪者はひとつの場所としてみる。全体としてどういうデザインを考えていくかが必要だ。
- ・検討会のメンバーは図面を見慣れていない。どういう形になるかわかるようにした方が良い。次回はイメージがわく形で提示して欲しい。

○委員

- ・新河岸川の整備工事が終了したが、白色が目立つ。まわりと併せて塗った方が良い。

○（オブザーバー）

- ・色が白いののは堤防の耐震工事によりコンクリートが新しいためである。時間がたつとなじんでくると思われるので、今しばらくお待ちいただきたい。
- ・新河岸川の耐震工事は令和 12~13 年度完了を目標に実施している。地域の安全安心のための工事であり、引き続きご理解ご協力いただきたい。

○副会長

- ・花火大会も大切だが、日常利用の視点も大切である。
- ・ベンチの取り外しはむずかしいため、人の流れを分ける方法を考えてもらった方が良い。

3. 今後のスケジュールについて

以上